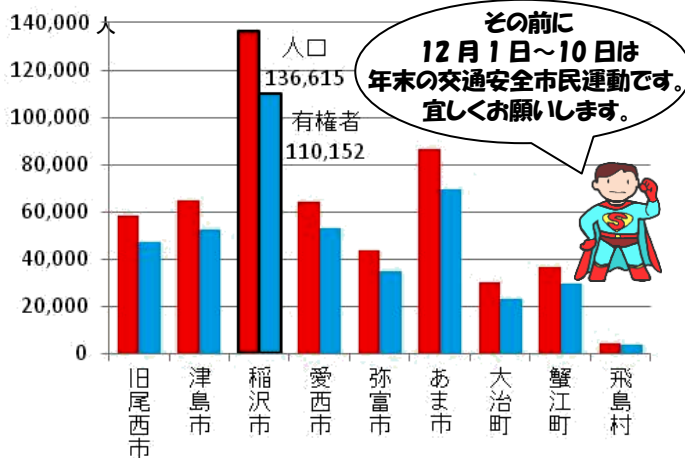




衆議院解散12.16総選挙



■Let's vote! 12月16日投票へ行こう! (期日前は公示翌日の5日からです)



11月14日の党首討論を受け16日に衆議院が解散されました。第46回となる今回の衆議院議員総選挙は12月4日公示、16日投票の日程で行われます。今年9月時点の9区の有権者総数は前回(第45回衆議院選挙)より2,068人増の424,045人、稲沢市は前回より1,340人増の11万人超で9区の約26%を占めています。

衆議院選の投票率は平成15年の第43回までは下降していましたが17年の小泉・郵政改革選挙では平成5年の投票率(旧稲沢市部分)を上回り68.3%を記録、前回選挙では政権交代への期待を受け71.8%に、選挙結果も初めて民主党の岡本が元内閣総理大臣の海部氏を破り、政権交代を象徴する選挙区となりました。

●愛知県第9区市町村別人口と選挙人名簿登録者数

人口は24.10.1の推計人口(旧尾西市は過去の数値)、有権者は24.9.2の選挙人名簿登録者数(正式には公示日前日に確定)

●過去3回の衆議院議員総選挙9区小選挙区の結果



	第43回 H15. 11. 09	第44回 H17. 09. 11	前回第45回 H21. 08. 30
投票率	57.89% (57.45)	67.15% (68.30)	70.33% (稲沢市 71.80%)
岡本みづのり	92,554 票 (24,633)	110,809 票 (29,830)	180,609 票 (稲沢市 47,401 票)
海部俊樹氏	104,075 票 (27,855)	130,771 票 (35,084)	100,549 票 (稲沢市 26,781 票)

■愛知県議会 12月定例会 12月3日開会...

12月県議会は予定通り3日開会となりますが、過去の例から(委員会を開催しても委員が選挙で集まらない?)11~14日に予定していた各委員会は衆議院選挙後の17、18日に一斉委員会という形で開催される変更案が示されました。代表質問、一般質問は予定通り5~7日に実施、閉会は20日となります。

提出予定の議案は一般会計の減額補正と企業会計(県立病院事業会計:小児3次救急体制整備のため大府市内のあいち小児保健医療総合センター関係の実施設計にかかる債務負担行為)の予算関係が2件、地域主権改革関係で新たな条例の制定が9件、平和高校跡地に愛知県立いなざわ特別支援学校を設置(平成26年開校予定)するとともに今までの養護学校を特別支援学校に名称を変更するもの、瀬戸の愛知県陶磁資料館を愛知県陶磁美術館に名称変更するもの、税制優遇措置が受けられる低炭素建築物新築等計画認定手数料の新設など条例の一部改正が7件、その他議案が12件の合計30議案となっています。総選挙費用(全額国から前は約35億円)の補正予算は専決処分され定例会で報告されるものと思われます。

●一般会計補正予算▲2億8千万余円

交通事故死者数ワースト1に対し、緊急交通安全対策の実施として、街頭啓発活動の強化に約360万円、名古屋走りの危険性を訴えるテレビCMに約1,370万円と計1,730万円を予算化。緊急雇用創出事業の残約2億98百万円を減額し債務負担行為により来年度へ。

◆都道府県別交通事故死者数(10月末現在)

- ワースト1 愛知県 188人(+14)
- 2 埼玉県 160人(▲7)
- 3 北海道 151人(▲1)

◆重点対策市区町村 北区、中川区、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市、豊川市、豊田市、安城市、小牧市

安全運転でお願いします!



STEP21 県政



REPORT

民主党県議団 すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24
Tel24-6600 Fax23-0791 juneri@na.commufa.jp

1211

要注意!

名古屋走り

・信号の変わり目での交差点への無理な進入(信号無視)

・対向車線にはみ出での無理な追い越し(通行区分違反)

・無理な割り込み(進路変更禁止違反)

・ウィンカーを出さない車線変更(合図不履行)etc...

■資源エネルギー庁等調査 2012.10.17~18



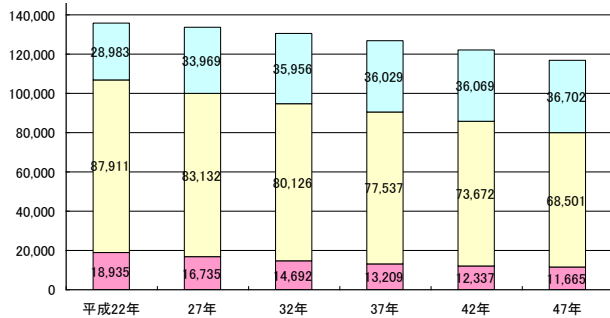
TOYOTAの星! 同期の中村県議と

本年7月に策定された蓄電池戦略(経済産業省蓄電池戦略PT)は蓄電池を①再生可能エネルギー②防災③次世代自動車などの観点から分散電源の促進にとって核となる重要技術、成長産業分野と位置付け、①低コスト化(現状鉛は4万円、リチウム20万円ともに/kWh)②高効率化③大型化(NAS電池 vs レドックスフロー電池)の課題に取り組むための戦略を展開し新たな市場の創造や競争力強化の基盤を図るとしている。

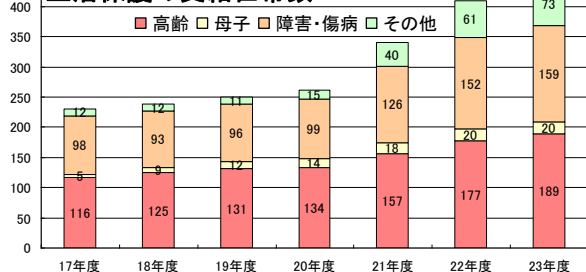
2020年の市場規模は現在の約4倍の世界で20兆円と予測、目標はその5割のシェア。来年度概算に電力系統用大型蓄電池の実証実験に180億円を要求するなど、大型、定置用、車載用と蓄電池普及に向けた政策を実施。燃料電池車の2015年市場投入に向け4大都市圏を中心に100箇所の水素供給設備を先行整備するとしているなど直嶋正行参議院事務所で話を伺う。前日には斎藤嘉隆参議院事務所で地方議会企画官の寺田氏と議会改革関係で地方自治法の改正について意見交換。

■公共施設のあり方検討委員会—明日のいなざわが輝くために—稲沢市 121115

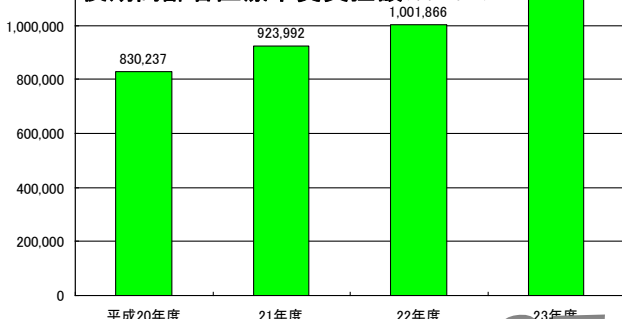
市の将来人口推計 年少人口 生産年齢人口 高齢者人口



生活保護の受給世帯数



後期高齢者医療市費負担額(単位:千円)



11月23日そぶエイチョウ黄葉まつり開会式

25日尾張第四腎友会健康講座

28日交通安全緊急総決起大会

12月8日障がい児のつどい

9日稲障連チャレンジドフェスタ2012

ついに野田総理の強い意志で乾坤一擲

消費増税後に責任を取り解散すべきと思っていましたが節税の忙しい時になり恐縮です。結果はどうあれ漸く新年、新年度に向け継続も含め新しい国・地域創りに正々堂々と取組めます。未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん

昨年の11月17日に第1回の公共施設のあり方検討委員会が開かれてから第7回目となる委員会が11月15日に開催されました。一部STEP21県政REPORT1207に続きレポートします。当日の議題としては、社会的条件の整理、改革の目玉として小中一貫校の新設と30人学級の導入、消防施設の見直し案などが示されました。

※将来人口推計では、県は平成27年まで増加を続けるものの稲沢市ではすでに人口減少と推計、平成17年と47年を比較すると2万人の減、高齢化率は31.4%、約3人に1人が65歳以上となる。高齢者のみの世帯の増加も課題に。
※社会保障関係は高齢化に伴って上昇は避けられないが、介護保険の一人当たり給付費等は抑制傾向。

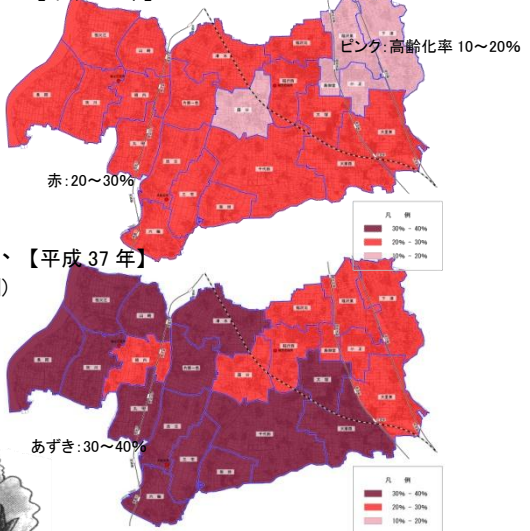
※コミュニティ単位の在り方も重要となるが、中学校区単位に統合する学校について小中一貫校の概念に続き30人学級の導入が示された。

※消防は体制の見直し(削減)、管内の救急要請対応(現状8割)のため東分署強化を謳う。



●小中一貫校は少子化の中で理想の教育環境となるか? 地域コミュニティの在り方は?

●各小学校区の高齢者人口の割合(付属資料から)【平成22年】



STEP21



!解散です。本来マニフェストにない

乾坤一擲(けんこんいってき): さいころを投げて、天が出るか地が出るかをかけること。自分の運命をかけるような大仕事、大勝負をすること。(日本国語大辞典)